

平成28年度鳥取県中学校教育研究会夏期研修会実施レポート

- 1、日時 平成28年8月16日(火) 9:30～15:30
- 2、会場 倉吉市立東中学校
鳥取県倉吉市宮川町2丁目76 (0858) 22-6295
- 3、主催 鳥取県中学校教育研究会 音楽部会
(平成28年度鳥取県教育センターアドバイザー派遣事業)
- 4、内容 講義・演習「魅力ある音楽科の授業づくり」
講師 港区立六本木中学校主任教諭 勝山幸子先生

○講義Ⅰ 表現領域における授業実践

- ・ 思いや意図を持った音楽表現をねらった授業展開
- ・ 指導事項を明確にした授業展開の工夫
- ・ 器楽と創作における指導と評価

○講義Ⅱ 鑑賞領域における授業実践

- ・ 鑑賞の指導と評価

本研修では、勝山先生から東京都中教研音楽部会研究部長として重ねてこられた様々な授業研究や実践を学ぶことができた。生徒の考えや思いを引き出す授業展開の工夫や、指導事項を明確にした発問の巧みさ、生徒の発言から学びを深めていく手法は見事であった。また、具体的な評価方法や、3年間の系統性、既習事項とのつながりについてもよく練られており、本県の音楽教員が授業力を高める上で大変参考になった。

講義より

【何を目標として指導するのか】

鑑賞のゴールとは指導事項のアイウを身につけることであり、その学習を通して音楽の価値に気づき、我が国の音楽に愛着を持ち、諸外国の音楽文化を尊重することができるようになることです。

指導事例 3年生鑑賞「世界の音楽」

音楽を聴いて特徴やよさを味わったら「なぜ音楽は地域によって多様なのか」を考えさせ、「音楽は人間の生活と結びついている。だから音楽は多様である。一方で多様な音楽に共通する、人間にとっての音楽の意味というものがある。だから音楽は魅力的なのだ」ということに気づかせます。最後は「音楽から世界の人々の気持ちや文化・歴史が伝わってくる。それぞれの音楽によさがある。私たちは音楽で世界とつながることができる。そういう視点でこれからもいろいろな音楽を聴いていこう」と授業を締めくくります。